

1 市場の特徴

- 江戸三大青果市場の一つである駒込青果市場を起源に持ち、都の中央卸売市場としても最古の市場（昭和12年開場）
- 主に豊島、北、板橋、文京区など城北地区の八百屋を中心に青果物を供給する、地域に密着した市場
- 国道17号に面しており、巣鴨地蔵商店街に近いなど好立地であるが、敷地は東京都中央卸売市場で最小

2 東京都卸売市場整備計画（第10次）の位置づけ

市場別の整備計画において、豊島市場は、「**区部北西部の商圈を踏まえ、周辺市場との連携強化及び機能集約を視野に入れた検討を行う。**」と位置付けられた。

3 東京都卸売市場整備計画（第10次）期間中の主な取組

- 平成28年度 都と業界関係者で意見交換を重ねる
(10次整備計画策定に向けた検討等)
- 平成29年度 都と業界関係者で意見交換を重ねる
(豊島市場の今後の検討体制の議論等)
- 平成30年度 第1回豊島市場あり方検討委員会準備会（平成31年2月）
- 令和元年度 第2回豊島市場あり方検討委員会準備会（令和元年9月）
第1回豊島市場あり方検討委員会（令和2年2月）
- 令和2年度 第2回豊島市場あり方検討委員会（令和2年7月）
豊島市場売買参加者による板橋市場での試行取引
(令和3年3月1日から3月12日まで)



4 豊島市場の強み・弱み・機会・脅威

- ### [強み]
- a 消費地に立地
 - b 伝統と実績によるブランド
 - c 交通アクセスの良さ
 - d 産地や実需者をリードする
目利き力のある人材

- ### [弱み]
- A 市場関係者の高齢化
 - b コールドチェーンへの対応
 - c 老朽化した市場施設
 - d 狭隘な市場用地
 - e 市場業者の人手不足

- ### [機会]
- 1 ICTとSNSの発展と浸透
 - 2 集荷や販売の取引方法の
多様化
 - 3 生産者や実需者のニーズ等
情報伝達への期待

- ### [脅威]
- 1 生産農家の減少
 - 2 青果専門小売店の減少
 - 3 市場外流通の増加
 - 4 安全や安心等品質衛生
管理の標準化

東京都卸売市場整備計画(第10次)を踏まえた豊島市場の取組について

5 豊島市場あり方検討委員会における活性化に向けた取組の検討

卸売業者、仲卸業者、売買参加者、都で構成される委員会にて、中長期的な豊島市場のあり方を検討するとともに、これを実現させるための市場活性化策の検討を進めた。

豊島市場の課題等について、仲卸業者及び売買参加者にヒアリングを実施し、卸売業者への要望をまとめた。卸売業者がその要望を受け、豊島市場の活性化に向けた取組を提示し、これをもとにあり方検討委員会にて今後の豊島市場活性化の取組の検討を行った。

6 豊島市場活性化に向けた取組について(主な内容)

方針	方向性	具体的取組
1 集荷力の強化	①産地動向を的確にとらえた産地の開拓	・産地との連携を強化し、産地ブランドなど特色ある品揃えを行っていく。
	②出荷者との緊密な情報交換	・予約相対等による取引の強化、新商品開発などの企画提案の検討
	③特色ある品揃えの強化	・近隣市場との連携により、相互で強い品目の集荷を実施。 今後も連携により品揃えの強化を図る。
2 販売対応力の強化	④実需者等のニーズを産地につなげる情報受発信機能の強化	・市場関係者との定期的な商談会や産地との共同商談などに取り組み情報の収集、発信を強化する。
	⑤仲卸業者等と連携強化した販路開拓	・無選別の商品、訳あり商品等のニーズを集約し、販売につなげていく。
3 機能強化に向けた施設整備	⑥市場設備の機能強化	・低温設備の新設等、品質衛生管理向上に向けた機能強化の実施
4 豊島市場活性化に向けた検討	⑦豊島市場活用可能性の検討	・活性化の検討において、今後も豊島市場あり方検討委員会を積極的に活用する。また、豊島市場を利用する若手の意見も取り上げていく。
	⑧板橋市場での試行取引の実施	・豊島市場売買参加者による板橋市場での試行取引の実施 (期間：令和3年3月1日から3月12日まで)

7 今後の取組について

これまでに豊島市場あり方検討委員会にて、積み重ねた検討及び取組を活かしつつ、来年度以降は、東京都中央卸売市場経営指針、今後策定される経営計画（仮称）を踏まえながら、活性化に向けた取組、中長期的な豊島市場のあり方の検討を進めていく。